南部町のいきものたち ②

ベニシジミ

とっとり花回廊にて　（撮影：桐原真希）

この季節、さまざまなチョウが南部町のあちらこちらに舞っています。その中で、私たちの足元をちらちらと舞っているオレンジ色の小さなチョウがベニシジミです。現在、郵便局で販売されている30円切手にも登場しているので、手元に切手がある方は、ぜひ見直してみてください。

ベニシジミは早春から飛びはじめ、晩秋まで姿が見られるという大変活動期間が長いチョウです。この長い活動期間中に、ベニシジミは季節によって翅の色が大きく変わります。春と秋に見られるベニシジミは鮮やかなオレンジ色をしていますが、夏に見られるものは翅が黒ずみ、オレンジ色が不鮮明です。これは季節型と呼ばれていて、幼虫や蛹の時期の気温や日長によって、体の大きさや模様に違いが現れます。ベニシジミは今の時期が最も美しいので、まさに今が見ごろといえます。

とても身近なチョウであるベニシジミですが、私は卵や幼虫を見たことがありません。ベニシジミの幼虫は、ごくありふれた雑草であるスイバやギシギシなどのタデ科植物を食べます。今年こそは、これらの雑草の葉っぱを丹念に調べて、卵や幼虫を観察したいと思っています。

写真のベニシジミは、昨年の5月に「とっとり花回廊」で撮影しました。ちょうど、ジャーマンカモミールという花の蜜を吸っているところを見つけ、ゆっくり近付いてシャッターを切りました。

南部町最大の観光スポットである「とっとり花回廊」は、花だけでなく、チョウの観察も楽しめる施設です。園内には、チョウを呼ぶためのコーナー「バタフライ・ガーデン」もあります。そこには、主にブッドレアという植物が植えられ、夏から秋にはアゲハの仲間などがよく訪れます。園内には、管理されている園芸種の植物と、自生している野生の草花の両方がみられます。どんなチョウがどんな花を訪れているか、ちょっと気にしてみると花を見る楽しみが膨らむのではないでしょうか。

自然観察指導員　桐原真希

〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1　南部町 企画政策課　☎(0859)66-3113　F(0859)66-4426
http://www.town.nanbu.tottori.jp　E-メール kikaku@town.nanbu.tottori.jp

R100 古紙配合率100% 再生紙を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆インキを使用しております。